

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の情報をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

《試料・情報の利用目的及び利用方法》	●研究の名称 看護職を対象にしたケアの倫理コンピテンシーを高めて普及させる研修プログラムの効果検証
	●研究の対象 2018 年5月中旬に浜松医療センターに勤務しており、出勤していた（長期休暇や休職者を除く）常勤の看護職員（保健師、助産師、看護師の有資格者）の方 486 名
	●研究の目的 ラダーⅣに該当する看護職員を対象に 5 年間継続的に実施した「ケアの倫理コンピテンシーを高めて普及させる」研修プログラムの運用により、看護職員全体のケアの倫理コンピテンシー得点は変化したか、また身体拘束率や看護師がICに同席する率の推移などの患者の利益に貢献できたか、さらに倫理的ケアの実践に取り組んでいる看護職員が実感している成果と課題はどのようなことかを量的・質的データより明らかにすることを目的とします。
	●研究の期間 研究機関の長による実施許可日から 2023 年 3 月まで
	●他の機関に提供する場合には、その方法 研究代表機関へのデータの共有は、記憶媒体に保存し、パスワードをかけ、郵送で行います。特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。無記名自記式質問紙のため個人の特定はできません。
《利用し、又は提供する試料・情報の項目》	●研究に使用する情報 - 研究対象者背景：年齢、性別、職位、看護経験年数、最終学歴、看護（ケア）の倫理に関する講義の受講や講演への参加経験の有無、病棟単位での身体拘束低減への取り組みの有無 - 尺度：ECCS（22 項目）、身体抑制認識尺度（11 項目）、看護師の仕事意欲測定尺度（15 項目）、せん妄等に対する看護ケア実践の取り組みに関する質問リスト（25 項目） - 通常の看護ケアを集計した統計情報
《利用する者》	●機関名および責任者名

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

の範囲》	浜松医科大学 片山 はるみ 浜松医療センター 杉山由香
《試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称》	浜松医科大学 片山 はるみ
《試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止（受付方法含む）》	あなたの情報を研究に使用することや、他の研究機関に提供することを望まない場合でも、無記名のため特定の個人に遡ることができず、問い合わせ先まで連絡をいただいても、対応ができないことをご了承ください。
《資料の入手または閲覧》	この研究は無記名で実施され、個人の特有的ができないことから、あなたがご自分の研究結果を知りたいと希望される場合には、研究全体の結果をお伝えいたします。
《情報の開示》	この研究は無記名で実施され、個人の特有的ができないことから、あなたがご自分の研究結果を知りたいと希望される場合には、研究全体の結果をお伝えいたします。
《問い合わせ先》	〒432-8580 浜松市中区富塚町 328 番地 浜松医療センター 部署名： 看護部 担当者： 杉山由香 TEL： (代表)053-435-7111 E-mail： (代表)iryocenter@hmedc.or.jp